

みなさんの考えシート(まとめ)

【質問】

青梅市こども条例に載せたいことばや文章を考えてみよう！

【回答】

- 子どもの権利を理解する。
- こどもは大人が思い通りにしようとする存在ではない。(そのこども観をこどもにもわかるように載せたい)
- こどもが大切にされる地域のシンボルマークをつくります。(親しみやすいロゴをつくり広報に掲載し、バッチやワッペンにして啓発)
- こどもの減少をストップして地域を発展させます。
- こどもが大切にされる地域は強くて健全な地域です。
- こどもたちが生き生きのびのびしていることが、青梅市の未来を強く、たくましくしていくことにつながる。そして安心して過ごせる。
- この条例をつくりっぱなしにせず、こどもとの対話を通じてブラッシュアップさせます。
- この条例を社会の状況に合わせて、こどもと共に対話し常に見直していきます。
- こどもは地域の宝です。
- わたしたちが表現していること○言葉○しぐさ○文○ジェスチャー…それらをあたたかく受け止め応援してほしい。
- 私たち市やおとなは子どもの権利を保障するために、このようなことを約束します。
- こども一人一人気持ちや想いはちがいます。その気持ちや想いに向き合ってほしい。
- 意見や声を出すことが困難なこどもの思いも汲み取る。
- こどもは十分に休息をとり、必要に応じて支援や保護を受けることができます。
- こどもの意見気持ちや考えを受け止め、こどもとの対話を通じてこどもにとって最もよいことは何かを考え、その実現のためにこどもと共に努力していきます。そのための場所をつくります。
- こどもの参画を進めます。

- こどもの意見を積極的に聴き、対話を通して青梅市を共に作って参画を進めます。
- こどもが遊び、休息をとる環境をつくります。
- こどもとの対話を通じてこの条例を実行していきます。
- こどもたち一人一人の個性を認め、その尊厳が尊重されること
- こどもである私の味方になってくれる大人でいてください。
- 自分で考えて決める時間をください。間違っているときはその理由を伝えてください。
- この条例ができて常にもこども(私たち)の声を聴き続けて下さい。こどもの声が届く条例は育っていきます。「時代と共に更新される条例」
- こどもの意見や考えを否定せず、きちんとはじめから最後まで聞くことが重要であり、良き関係が生まれる
- 私はこどもですが、こどもである私を信頼してくれる大人でいてください
- 青梅市の街づくり構想における重要な条例であることを明記する
- 条例には他行政にない「アツと」驚く内容を！
例) 青梅市の学校教員は社会人経験50%
初めて親になる保護者説明会
国際的完成を高める為の国際交流充実
- 他行政の例は前文にあらず。もっと簡潔に誰の為の条例か何の為に制定するのかを解り易く表記する(具体的なルールは条文で)
- 子どもの権利条約との関連性を記述する(生きる、育てる、守られる、参加する権利)
- こどもはそのおかれている状況により、差別や不利益を受けることがあってはなりません。国籍、民族、言語などにおいて少数の立場のこども、障害のあるこども、施設で暮らしているこどもは特に配慮されます。
- 青梅市政の vision(理想郷)を掲げてはじまる前文構成
- 他の誰かと比べるのではなく、一人の私として尊重して下さい
- みんな同じでなくていい。こどもは否定されない、管理されない、決めつけられない。大人は否定しない、管理しない、決めつけない。こどものセーフガーディング
- 自由と義務。権利と責任。間違っても失敗してもやり直せるし、やり直しても否定されない。
- 大人は権利について学ぶ。大人もこどもも学び続ける。

- 青梅の自然を愛し、共生できるこども
- 生命を尊重する
- こどもは安心して生きる権利がある、生きる権利を守る、生きていくために守られる。
- こどもの安全を重視した文書（こどもたちが事件に巻き込まれない環境）
将来特殊詐欺に入らないように
- それぞれの持つ力を発揮しながら社会を作り、未来につなぐこどもの育ち
を見守る
- 大人は偉くない。大人が正しいとは限らない。
- 自分の将来を自ら切り開いていけるこどもたち
- 自分のことばで意見を言える子
- 未来をえがける、未来を想像させる環境作り
- 人のいたみが分かる思いやりのあるこどもを育てる町
- 他人を思いやることのできるこどもの育成
- 多様性を尊重したことば
- やさしいこどもになってほしい
- 私たちがどこにいても愛しく思い誇りに感じられる故郷として地域を守る
- ごみのないまち（犯罪のないまち）
→青梅の強み！（シンガポールみたいにごみのない街で有名に。実際に23区に比べてゴミ少なくきれいだと思う）
- こどもとの対話を通じてこどもにとって最もよいことを考え、その実現のためにこどもとともに努力
- 対話ができるまち
→青梅市のあちこちで対話が自然に生まれる仕組み仕掛けがある！（条例文だけでなく具体策も同時に生まれてほしい）
- こどもたちの夢（願い）が叶うまち
→人口が少ないからこそ一人一人の声がきける。小さなことでもいいのでなるべくこどもたちの声をきいて叶えられる市でありたい
- こどものつばやきは宝物
- 自分らしく安心して過ごせる
- 青梅らしさ（川、山、自然、生物など）
- 差別されない。比べられない。
- 1人時間がある

- 暑さとか気候に合わせたこと？
- こどもを待てる。失敗も含めて見守れる大らかな青梅市
- ゆっくりする時間
- あそぼーよ青梅
- 青梅時間（ゆったりゆっくり時間が流れる）
 - 青梅のこども条例にこんなあるよね、大人もこどもも行きたくなるかも！
- こどもと一緒に考える
- こどもは権利の主体
- 権利を認め合う